

ものゝら 武士たちにも流行りの“インスタグラム”？



仙台藩 老元陣屋 版



12月1日（土）から1月26日（土）まで、仙台藩老元陣屋資料館では「よろいかぶとの試着」を行なうことができます。

足先から頭まで鎧武者の姿になって、記念撮影をしませんか？よろいの着付けは職員がお手伝いしますので、初めての方でも気軽にお試しいただけます。

試着に必要な時間は10分程度ですが、もしご希望があれば、その場で撮影した写真を資料館オリジナルのポストカードにしてお渡しできます。また、ご自身のスマートフォンなどで撮影した動画をインターネットに掲載したり、資料館内に写真を掲示することに同意してくださる方には、銘菓「赤松煎餅」1包みを進呈します。

ポストカードは1人から3人一緒に写れるものまで、幾つものバリエーションを準備してお待ちしています。

なお、例年に比べて期間は短めですのでご注意ください。

対象：小学生以上（体格により異なります）

予約：不要（事前のご相談は承れます）

料金：入館料のみ

（大人300円、小中生150円。町民は無料）

重さ：小さいよろいはおよそ15kg

大きいよろいはおよそ20kg

第145号

（平成30年12月号）

発行：仙台藩老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

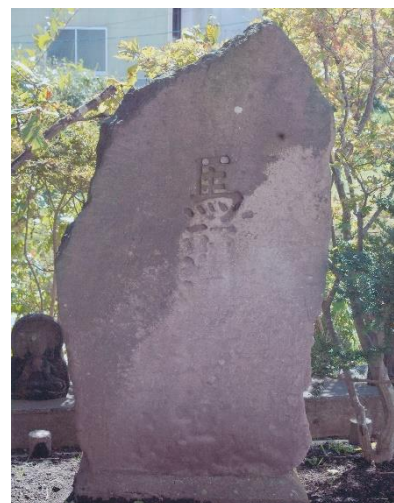
白老東高校地域学

「白老町史編」が始動！！

平成30年度に始まりました白老東高校の地域学講座。平野学芸員が講師となり、郷土白老の様々な事柄を学んでいます。

11月8日（木）は、「白老の石碑と地域の歩み」をテーマに講義を行いました。サブレッドや黒毛和牛の生産、豊富な海産資源を巡る虎杖浜の歴史。多様な業種が展開する白老には、先人たちの足跡が石碑となって残されています。

石碑を切り口に歴史を辿れば、その地域で起こった出来事や地域の特色を知ることにも繋がります。どうして社台に馬頭観音碑や蓄霊碑が多いのか、虎杖浜の馬頭観音碑との由来の違いは何か。「地域学」に参加する生徒たちは、路傍の石が教えてくれる郷土の歩みに、興味深そうに耳を傾けてくれました。



（漁から戻った漁船を引き上げるために活躍（上）

山崎寿昭氏撮影

漁業に従事した馬を供養する青峯山観音寺の馬頭観音碑（左）

陣屋資料館で様々な交流事業

11月13日(火)、白老町商工会女性部主催の交流事業が、鶴居村の女性部5名を招いて行われました。タンチョウの里として知られる鶴居村は、かつて仙台藩士が警備を担当した地域に属しています。資料館友の会の平松さんから展示解説を聞いた皆さんは、特別に用意されたお抹茶と併せて、白老の歴史を味わって行かれました。

また、11月15日(木)には、白老町文化団体連絡協議会主催による胆振文化交流会20名の施設見学が行われ、川西会長が案内役を務めました。

今後ますます注目が集まるとされる多文化共生のまち白老。多くの方に関心と理解を深めていただけるよう、資料館関係者一同、これまで以上に熱い思いで、ご来館をお待ちしています。



新たな遺跡を発見。ポロト湖が育んだ人々の暮らし

民族共生象徴空間の開設に向けた工事が日々進められているポロト湖周辺では、虎杖浜に次いで数多く太古の遺跡が確認されています。

もともとポロト湖は、縄文時代の温暖な気候のもと、現在より内陸まで押し寄せていた海岸線が作りあげた汽水湖です。この時代に形成された古い砂丘が残ることは、これまでも何度かお伝えしてきましたが、この2年間で、新たに2地点で遺跡が発見されました。縄文時代中期から後期(およそ5,000年前~3,000年前)にかけての遺跡で、それぞれ「ポロト3遺跡」「ポロト4遺跡」と名付けられました。

アイヌ文化伝承の拠点として知られ、森と山に囲まれた景観が親しまれてきたポロト湖周辺には、まだまだ知られざる遺跡が眠っているものと思われます。



<ポロト4遺跡で出土の土器片>



<遺跡の位置と名前(写真左から):ポロト4遺跡、ポロト3遺跡、ポロト2遺跡、ポロト遺跡、ポロト1遺跡>

年末年始の休館日について

12月29日(土)~1月3日(木)の期間は年末年始の休館日です。
来年もよろしくお願いいたします

「仙台陣屋かわら版145号(平成30年12月20日)」
発行日:平成30年11月20日(火)
発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野
<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/bunka/jinya/> TEL:015-29906
Mail: jinya@town.shiraoi.hokkaido.jp